

(一) 融入的時刻~阿丁 / A-ku / A-may / Nana 對未知的不安

1、豐年祭~訪網路課小朋友 5W1H~如何取得資訊

阿丁、A-ku、A-may、Nana 選修外語學院「中華文化多語談」，需繳交分組報告之期末作業。於是四人決定一起去阿丁每天網課連線的山地部落，參加阿道族人舉行的豐年祭。

【A1-13】

丁、A-ku、A-may と Nana は、外国語学院の開設した「多言語で中華文化を語る」講座に出ている。

学期末の課題は、グループでの調査報告である。

丁が教えているネットクラスには、道という原住民がいる。

四人は、道の故郷で開かれる豊年祭に参加することにする。

A-may：離豐年祭還有一段時間，我們可以好好了解一下阿道族人的豐年祭。

Nana：我也好想多了解一點。

A-ku：我們可以分工啊！

阿丁：我知道有一個原住民網站可以查。

A-ku：問題是大家想知道什麼？

Nana：我想，至少是5W1H吧！

阿丁：首先，是豐年祭的由來、目的、特色。

還有，豐年祭的進行程序，也要知道。

A-may：對啊，這樣才不會出糗。

A-ku：沒錯，我們需要概念知識和程序知識。

Nana：這是指內容。要從內容分工嗎？

阿丁：我建議針對同一內容，但是從媒體來分工。譬如說，有人負責音樂，有人找影像資料。

A-ku：很好。這樣，就可以相互確認內容對不對。我來負責影像。

阿丁：我來找音樂。

A-may：我來整合網頁內容。

Nana：我來做投影片。

A-may：「豐年祭までは、まだ時間があるわね。道ちゃんの民族の豊年祭、調べてみましょうよ。」

Nana：「もう少し資料がほしいわね。」

A-ku：「手分けして探そう。」

丁：「僕は、原住民についてのホームページを知っている。」

A-ku：「問題は、何について調べるかだね」

Nana：「うーん、5W1Hから調べたらどうかしら？」

丁：「そうだね。じゃあ、まずは豊年祭の由来と目的、特徴を調べることにしよう。それに、祭りの進め方についても詳しく調べないと。」

A-may：「そうね。その方が着実だわ。」

A-ku：「確かに。まずは概念と段取りを知っておかないと。」

Nana：「それは、豊年祭の内容についての話よね。」

ほかには、どんな作業が必要かしら。」

丁：「まずテーマを決めて、次に作業を分担したらどうだろう？たとえば、音楽とか、映像データとか、それぞれの担当を決めてさ。」

A-ku：「賛成。そうすれば、一つのテーマについて、それぞれの情報を持ち寄ることができるね。じゃ、僕は映像担当だ。」

丁：「音楽関係は、僕に任せてくれ。」

A-may：「私はホームページの資料を集める。」

Nana：「じゃ、私は、スライドを作るわ。」

A-may：「すごいわ！プロジェクトチームの結成よ！」

A-may：我們好厲害喔！自動  
形成團隊喔！  
阿丁：沒問題，先做再說。  
A-ku：對，創造從行動開始！  
彼此確認後，再來整合內容。

丁：「よし、さっそく実行に移ろう。」  
A-ku：「うん。『案ずるより生むが易し』だ。  
お互いの作業をチェックしながら、まとめて  
いこう。」

